

Title	表紙
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学大学院法学研究科内『法学政治学論究』刊行会
Publication year	2023
Jtitle	法學政治學論究：法律・政治・社会 (Hogaku seijigaku ronkyu : Journal of law and political studies). No.139 (2023. 12)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN10086101-20231215--001

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

法学政治学論究

法律・政治・社会

第 139 号

- 立法者の事後的是正義務の法的構造……………入 井 凡 乃
- 韓国の「クロス承認」政策……………李 尚 河
- 中国における「人道に対する犯罪」の国内立法化に関する一考察……王 松 竹
- 神経法学の体系……………小久保 智 淳
- 大西洋同盟の結束……………小 南 有 紀
- 斎藤隆夫の選挙地盤醸成をめぐる苦闘について……………牧 理津子
- 在日韓国人の協定永住権申請をめぐる駐日韓国大使館と民団の
対立と協力、一九六六—一九七一年……………成 瀬 友 裕
- カルテル法制史における法の許容とその評価……………廣 瀬 翔太郎
- 「危険の予見可能性」及び「情報収集義務」概念登場に至る
過失犯論史の探究……………川 原 慶 己

慶應義塾大学大学院法学研究科内
法学政治学論究刊行会